

地域の生活を支える歯科医療の充実を目指して

歯科医療の目的は、歯や口腔内の健康と機能向上により国民に生涯にわたって幸福を感じてもらい心身の健康に寄与することにあると思います。健康を維持し疾病を克服することは個人的な問題のように思われますが、食べることは人間にとって基本的な要件であり、一人でも多くの方が健康で暮らせることが地域社会を支える基盤につながっていると考えます。

現在、県内で419の組合員が地域に密着した医療活動を理念に歯科医院を経営しています。しかし、時代の変化に合わせた医院の経営の合理化や歯科衛生士や歯科技工士などとの労使関係など、歯科医院の経営の安定のために改善していかなければならない様々な課題があります。

当組合では、各歯科医院の経営課題の解決のために、組合員のニーズに合った医療機器や事務用品などの共同購買や斡旋、歯科医師や従業員の福利厚生充実のための団体保険・損害保険など様々な事業を行って

います。また、教育情報事業では最新の医療技術の研修会や経営・労務管理の情報提供を行い、今後の歯科医院の経営をサポートする取り組みを行っています。

昨年度からは、パソコンを使ったテレビ会議を取り入れ、理事会や役員・事務局との打ち合わせに活用しています。これは全国的にも先進的な取り組みで、組織運営の効率化に効果を発揮しています。来年度以降は、組合の会議や研修会・講演会など活用の幅を広げていきたいと思ひます。

高齢社会の到来により歯科医療を取り巻く課題は大きく変化を続けています。組合としては、これからも組合員のための様々な共同事業の検討と取り組みを進め、歯科医院経営の合理化や安定化に寄与していかなければなりません。各歯科医院が地域の人々の生活と健康を支える医療を実現できる環境を目指して活動を行っていききたいと思ひます。

